

1964 謹賀新年



発行所
鹿児島市秘書課
編集人 永井隆治
発行人
南日本新聞社印刷局

市の現勢

人口	(12月1日現在)
男	150,549
女	166,422
計	316,971
世帯数	85,313

市民年始会

鹿児島市中央公民館ホール

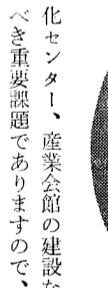
昭和三十九年 元旦午前11時

写真は郡元町紫原団地上空からみた市街地



積極果敢に懸案を達成

皆さんと共に、平和な明るい新年をお迎えできましたことを、心からお喜び申し上げます。



私は昨年五月、市長就任以来、美しい豊かな鹿児島市建設に努力して参りましたが、幸い、皆さん方のご協力によって市政が順調に伸展しておりますことを心から嬉しく思います。さて新年を迎えて、今年こそは、諸問題解決の基盤をうちたてる年としたいと念願しております。すなわち、鹿児島操車場の完成、大型空港の建設、九州縦貫高速道路の着工、文化センター、産業会館の建設など、いずれも観光立市をかかげる本市にとって、早急な解決すべき重要課題でありますので、国や県と協力してその実現に努力したいと考えています。また、中小企業の近代化のための諸施策とくに、中小企業金融公庫支所の設立、農村近代化のための酪農、花卉園芸の奨励、農業構造改善の適地選定など、新しい角度から検討し、前進していきたいと考えています。

さらに、国民体育大会の誘致にそなえて、鴨池球場、陸上競技場を中心とした総合的な体育施設の建設計画の樹立、そのための近海岸の埋立など、具体的に着手したいと思っております。また一方、人づくりの場としての学校の校舎、体育館その他、教育施設の充実のテンポを早めていきたいと考えています。

今年は「たつ」の年です。巨龍が天に向って、たくましくかけのぼるように、私も、全力をあげて市政と取組んで行くつもりです。どうぞ皆さんも、新しい気持で、住みよい明るい鹿児島市建設のために、ご協力くださるようお願い申し上げます。

一九六四年元旦

鹿児島市長 三ツ井卯三男

市民の福祉向上へ努力

みなさん明けましておめでとうございます。一九六四年の希望にみちた新春を迎えるにあたり、みなさんのご清福とご繁栄を心からお祈り申し上げます。



さて、昨年四月の統一選挙によりまして、わが鹿児島市も四十名の新選良とともに新市長を迎え、市政が清新にして発らつたる新生の息吹きにあふれつつ順調に進展いたしておりますことは誠に喜びにたえないところであります。

しかしながら、市民の福祉を増進し、生活の安定を図るには、なお幾多の重要問題が山積しております。特に本年はオリンピックの年でもあり、国際観光都市として更に躍進すべき年でもあります。そのためには、道路、港湾、鉄道など輸送力増強の問題をはじめ生活環境の整備など諸懸案の解決が急がれるところであります。

本年も、財政的には、昨年以上の困難が予想されますが国及び県の施策と相まって、市財政の範囲内において最大の効果をあげるべく努力し、三十万市民の信頼と期待にこたえる決意を新たにしております。

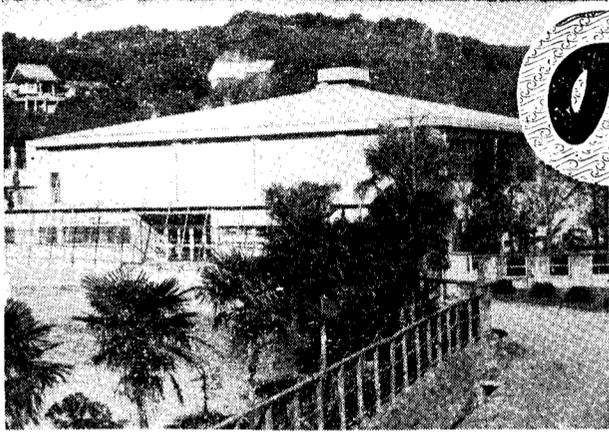
市民憲章にもありますように、みんな力を合せて「美しい町、豊かな町、明るい町」をつくるべく全市のエネルギーを結集していきたいと存じます。みなさんの一層のご協力とご鞭撻を賜わらんことを切望して止みません。

一九六四年元旦

鹿児島市議会議長 浜平勇吉



完成した上之原団地の宅地造成

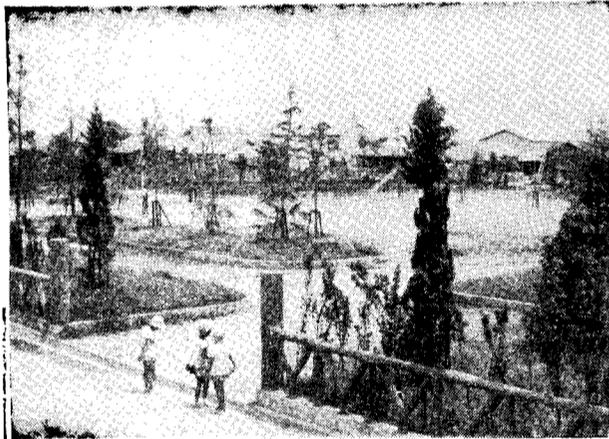


県下一の広さを誇る玉竜高校の体育館

のびゆく市政



スマートな松原小学校の講堂

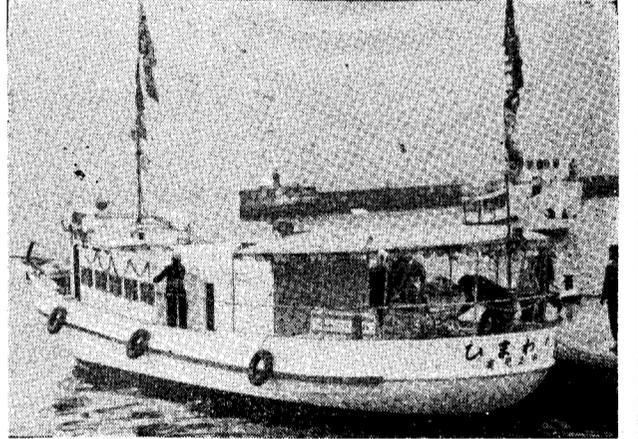


宇宿町にできた協田中央公園

昨年はいろいろ市政のために、ご協力いただきましてありがとうございます。

この一年の歩みのいくつかを、アルバムからひろいあげてみましたが、おかげさまで、かなりの成果をあげることができました。

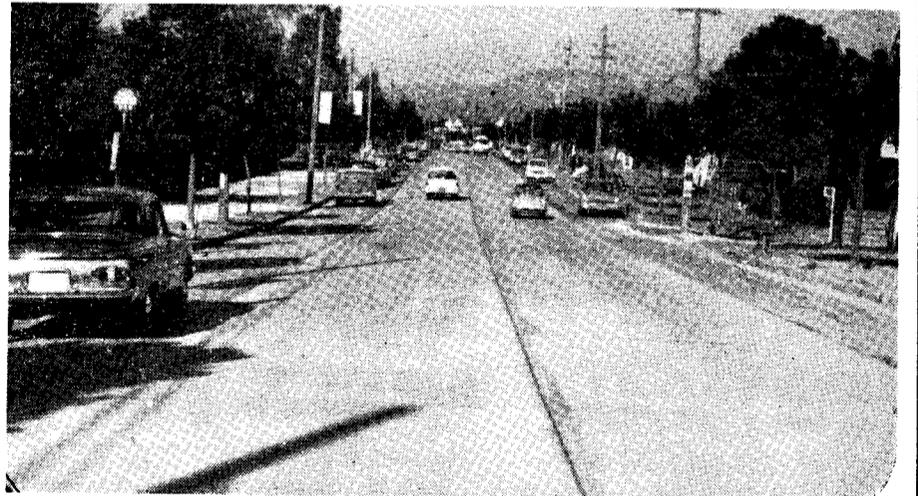
ことしは、さらに新しい気持ちで住みよい町づくりのために努力いたしたいと思っておりますので、市民の皆さんもどうぞよろしくお願いいたします。



海上観光に活躍する新鋭船「ひまわり号」



整備された西鹿兒島駅前広場



完全舗装された高麗通(附属小前)

1964年

第11回

成人式

○満20才になられた方
○服装は簡素に

とき 昭和39年1月15日午後2時
ところ 中央公民館ホール

市営バスで

「えびの」へ行こう

スケートバス予約募集

- ◇1泊コースと日帰りコース
- ◆1月2月の日曜祝日
- ◇お問合せ・お申込みは交通局営業課 両駅前観光案内所へ



- ◆スケート靴は全部新品
- ◇9文半から11文3まで各種用意
- ◆平日でも35人以上の申込みで運行
- ◇結氷状況によっては中止します。

霧島神宮 巡拝バス

料金 大人八〇〇円 子供五〇〇円
中食・飲物・休憩料とも

とき 一月一日・二日・三日
九時半市庁前発十六時帰着